


令和6年度（2024年度）北海道立教育研究所研修講座概要


(令和6年7月10日現在)

講座番号	1	講座名	学校管理職研修1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～	
区分	管理職			
研修のねらい	遠隔型研修や集合型研修における演習、協議と職場実践を通して省察を重ね、学校内外の関係者と学校経営目標を共有し、学校の教育力を最大化する学校経営の在り方について探究する。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 32名
日程	実施形態	概要		
【事前課題】学校経営に係る事例の検討				
①6月7日(金)	遠隔	【講義・演習・協議】(3h) ○学校経営におけるアセスメントとファシリテーション ○事前課題に基づく事例分析 ○学校経営の省察		
【職場実践】 ○学校経営の省察 ○事例の検討				
②9月20日(金)	集合	【演習・協議】(5h) ○職場実践の振り返り ○事前課題に基づく事例分析 ○ファシリテーションの実践構想		
【職場実践】学校経営の省察				
③12月5日(木)	遠隔	【協議】(1.5h) ○研修成果の確認と行動目標の設定		
講師	①②③北海道教育大学教職大学院旭川校特任教授 北村 善春 氏 (平成28年 北海道教育庁学校教育局長 平成30年 北海道立教育研究所長 令和2年～現職。 文部科学省委託報告書「管理職のファシリテーションを媒介とした協働的な学びの研修デザインの開発 3章4章」)		実施要項	


※全3回

講座番号	2	講座名	学校管理職研修2 ～これからの時代に求められる管理職の資質能力～	
区分	管理職			
研修のねらい	遠隔型研修や職場実践を踏まえた集合型研修を通して、これからの時代に求められる管理職の資質能力や学校組織マネジメントについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 32名
日程	実施形態	概要		
①7月5日(金)	遠隔	【説明・協議】(2.5h) ○研修イメージの共有		
②8月27日(火)～ 8月30日(金)	集合	【演習・協議・講義】(6.5h×4日) ○自らのものの見方・考え方の省察 ○省察(リフレクション)を踏まえた学校組織マネジメントの検証		
【職場実践】集合型研修を踏まえた職場での取組				
③12月6日(金)	遠隔	【交流・協議】(2.5h) ○職場実践の交流 ○まとめ		
講師	①②③東洋大学准教授 葛西 耕介 氏 (R5 NITS教育行政リーダー研修講師。 「6つのプロセスで理解する令和の学校マネジメント」著者)		実施要項	


※全3回

講座番号	3	講座名	学校管理職研修3 ～学校教育の質を高める働き方改革～	
区分	管理職			
研修のねらい	職場実践を挟んだ遠隔型研修による協議を通して、「働き方改革」を推進するためのアプローチや、学校教育の質を高めることができる組織づくりについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 32名程度
日程	実施形態	概要		
①6月12日(水)	遠隔	【講義・協議・演習】(6.5h) ○チーム学校としての働き方改革推進に向けて ○マネジメントの質の向上		
【職場実践】働き方改革推進に向けた取組				
②9月19日(木)	遠隔	【実践交流・協議】(2h) ○地域・関係機関等と連携した働き方改革 ○リーダーシップ発揮の実際		
講師	①一般社団法人ライフ&ワーク代表理事 妹尾 昌俊 氏 (中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員。 学校業務改善アドバイザー(文部科学省委託、埼玉県、横浜市、高知県等)) ②北海道教育庁教職員課働き方改革主幹		実施要項	


※全2回

講座番号	4	講座名	学校管理職研修4 ～多様な児童生徒への支援を充実させる学校体制の構築に向けて～	
区分	管理職			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び遠隔型研修における講義や受講者同士の交流・協議を通して、特別な教育的支援を必要とする児童生徒などの多様な児童生徒への支援を充実させる学校体制の構築について理解を深める。		受講対象 定員	小・中・高の管理職 等 32名程度
日程	実施形態	概要		
①6月14日(金)～ 6月27日(木)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○特別支援教育総論(NITS校内研修シリーズNo.119)		
②7月4日(木)	遠隔	【講義】(2h) ○今求められる特別支援教育の在り方		
【職場実践】 ○特別支援教育を充実させる学校体制の構築に関する自校の課題の明確化 ○課題解決に向けた取組				
③12月17日(火)	遠隔	【実践発表・協議】(2h) ○特別支援教育を充実させる学校体制の実際 ○特別支援教育を充実させる学校体制の構築に向けた自校の方策		
講師	②北海道大学教授 安達 潤 氏 (主な著書「PARS-TR(親面接式自閉スペクトラム症評定尺度)テキスト改訂版」(金子書房)、「発達障害の臨床的理解と支援3学齢期の理解と支援」(金子書房)など多数) ③北海道教育庁特別支援教育課課長補佐 北海道立特別支援教育センター課長		実施要項	


※全3回

講座番号	5	講座名	学校管理職研修5 ～組織的に取り組むICT活用～	
区分	管理職			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び遠隔型研修における講義や受講者同士の交流・協議を通して、ICT活用を校内で組織的に取り組むための管理職のマネジメントについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 等 32名程度
日程	実施形態	概要		
①8月26日(月)～ 9月10日(火)	オンデマンド	【講義】(1h) ○ICT活用による情報活用能力の育成 ○授業や校務等でのICT活用		
【職場実践】ICT活用に係る自校の課題と課題解決に向けた取組状況について				
②10月18日(金)	遠隔	【講義・演習・協議】(2.5h) ○ICT活用を校内で組織的に取り組むための管理職のマネジメント ○組織的に取り組むICT活用に係る交流・協議		
講師	①②合同会社エルティース代表社員 菅野 光明 氏 (文部科学省学校DX戦略アドバイザー。 元札幌市立稲穂小学校長)		実施要項	


※全2回

講座番号	6	講座名	学校管理職研修6 ～学校危機における管理職のマネジメント～	
区分	管理職			
研修のねらい	スクールロイヤーによる講義や事例の検討を通して、学校危機の早期解決、早期収束を図る管理職の対応の在り方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職 32名程度
日程	実施形態	概要		
【事前課題】学校危機に係る事例の検討				
①10月15(火)	遠隔	【講義・演習・協議】(4h) ○道内における相談事例からみた危機管理の在り方 ○学校危機に係る事例の検討 ○学校危機におけるマネジメントの改善・充実		
講師	①北海道教育委員会が委嘱するスクールロイヤー ①北海道教育庁生徒指導・学校安全課生徒指導係及び 総務課職員公務管理係担当者		実施要項	


※全1回

講座番号	7	講座名	学校管理職研修7 ～多様な教職員の専門性を生かした質の高い教職員集団の形成に向けて～	
区分	管理職			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び遠隔型研修における講義や受講者同士の交流・協議を通して、多様な専門性を有する教職員のやる気を引き出す具体策等について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職等 32名程度
日程	実施形態	概要		
①6月3日(月)～ 6月14日(金)	オンデマンド	【講義】(1h) ○教員一人一人の強みや特性を生かした組織づくり		
【職場実践】 自校の分析				
②7月12日(金)	遠隔	【講義・協議】(2.5h) ○自校の現状と課題 ○自主性・向上性と同僚性・協働性を高める組織づくりの具体 ○今後の取組に向けて		
講師	①②早稲田大学教授 河村 茂雄 氏 (NITS独立行政法人教職員支援機構 令和5年度学校組織マネジメント研修講師。 「学校管理職が進める教員組織づくり」(図書文化、2017)。 「Q-U『楽しい学校生活を送るためのアンケート』」開発者)		実施要項	

※全2回

講座番号	8	講座名	学校管理職研修8 ～「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた校内研修の在り方～	
区分	管理職			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び遠隔型研修における講義や受講者同士の交流・協議を通して、校内研修等の充実・活性化による学び合い高め合う教職員集団づくりについて理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職、ベテラン及び中堅段階の教諭 32名程度
日程	実施形態	概要		
①5月28日(火)～ 6月10日(月)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○研修の企画・運営・評価 (NITS校内研修シリーズNo.33)		
【職場実践】 校内研修で学び合う教職員集団づくりに関する自校の課題の明確化				
②6月28日(金)	遠隔	【講義・実践発表・協議】(3.5h) ○「新たな教師の学びの姿」を実現する校内研修 ○校内研修の充実・活性化の実際 ○学び合い高め合う教職員集団づくりに向けた自校の方策		
【職場実践】 自校における校内研修等の充実・改善				
講師	②横浜国立大学准教授 脇本 健弘 氏 (令和5年度「学校運営研修3～メンターチームによる若手教員の育成～」講師。 共著に『教師の学びを科学する』。編著に『教師が学び合う学校づくり』他、共著、編著多数)		実施要項	


※全2回

講座番号	9-1	講座名	教科研修（高校 国語） ～探究的な学習における指導と評価の充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	国語科における探究的な学習に関する講義・演習等を通して、探究的な学習における学習指導及び学習評価について理解を深めるとともに、「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善のための実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等国語科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
①6月10日(月)～ 6月28日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（2h） ○探究的な学習における「指導と評価の一体化」の充実 ○単元の指導と評価の計画の工夫改善		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月11日(木)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○探究的な学習の充実に向けた授業改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月14日(木)	遠隔	【協議】（3h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①早稲田大学教育・総合科学学術院教育学部教授 幸田 国広 氏 (共著『高等学校国語科 新科目編成とこれからの授業づくり』など)		実施要項	


※全3回

講座番号	9-2	講座名	教科研修（高校 地理歴史・公民） ～探究的な学習における指導と評価の充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	地理歴史科・公民科における探究的な学習に関する講義・演習等を通して、探究的な学習における学習指導及び学習評価について理解を深めるとともに、「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善のための実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等地理歴史科・公民科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
①6月10日(月)～ 6月28日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（2h） ○探究的な学習における「指導と評価の一体化」の充実 ○単元の指導と評価の計画の工夫改善		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月10日(水)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○探究的な学習の充実に向けた授業改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月13日(水)	遠隔	【協議】（3h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官 空 健太 氏 (地理・歴史科教育専門) ①長野大学准教授 飯塚 秀彦 氏 (元国立教育政策研究所教育課程調査官(公民科教育専門))		実施要項	


※全3回

講座番号	9-3	講座名	教科研修（高校 数学） ～探究的な学習における指導と評価の充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	数学科における探究的な学習に関する講義・演習等を通して、探究的な学習における学習指導及び学習評価について理解を深めるとともに、「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善のための実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等数学科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
①6月10日(月)～ 6月28日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（2h） ○探究的な学習における「指導と評価の一体化」の充実 ○単元の指導と評価の計画の工夫改善		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月9日(火)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○探究的な学習の充実に向けた授業改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月12日(火)	遠隔	【協議】（3h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官 小林 廉 氏 (数学科教育(高等学校)専門)		実施要項	


※全3回

講座番号	9-4	講座名	教科研修（高校 理科） ～探究的な学習における指導と評価の充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	観察、実験を伴う実習による実体験や実社会での問題発見・解決につながる教科等横断的な学びを意識した講義・演習等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方や評価について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	高等学校等の理科担当教諭（主幹教諭含む） 24名
日程	実施形態	概要		
①7月19日(金)	遠隔	【説明・協議】（1h） ○課題の明確化 ○OSTEAM教育との関連性		
②7月22日(月)～ 8月22日(木)	オンデマンド	【説明・講義】（0.5h） ○理科教育の現状と課題 ○授業改善と評価の充実 ○実習のポイント		
③8月29日(木)～ 8月30日(金)	集合	【観察、実験等を行う実習】2日間（6.5h、6h） ○「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験 ※4科目の中から1科目選択 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
④1月27日(月)	遠隔	【実践交流】（2h） ○実践成果発表及び交流		
講師	③酪農学園大学教授 金本 吉泰 氏 (元理科教育センター職員。理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究)		実施要項	


※全4回 ※③の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	9-5	講座名	教科研修（高校 英語） ～探究的な学習における指導と評価の充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語科における探究的な学習に関する講義・演習等を通して、探究的な学習における学習指導及び学習評価について理解を深めるとともに、「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善のための実践的指導力の向上を図る。	受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等外国語科担当教諭（主幹教諭含む） 10名	
日程	実施形態	概要		
①6月10日(月)～ 6月28日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（2h） ○探究的な学習における「指導と評価の一体化」の充実 ○単元の指導と評価の計画の工夫改善		
【職場実践】単元の指導と評価の計画の作成				
②7月12日(金)	遠隔	【講義・協議】（3h） ○探究的な学習の充実に向けた授業改善		
【職場実践】改善した単元の指導と評価の計画の実践				
③11月11日(月)	遠隔	【協議】（3h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①北星学園大学・北星学園大学短期大学部 教授 白鳥 金吾 氏 （授業分析手法COLTを用いた英語授業のリフレクション手法の開発研究など） ②聖光学院中学校・高等学校教諭 河野 周 氏 （高校生英語ディベート大会世界大会日本代表ヘッドコーチ）		実施要項	


※全3回

講座番号	10-1	講座名	教科指導力向上研修（中学校 国語） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どものための課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。	受講対象 定員	中学校等の国語科担当教諭（主幹教諭含む） 120名	
日程	実施形態	概要		
①9月2日(月)～ 9月6日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性 ○問題の解答プロセスの再現		
②9月10日(火)	遠隔	【交流・講義・協議】（3h） ○授業実践に関わる自身の課題について ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に応える授業とはどのようなものか」		
講師	②道内の公立高等学校教諭		実施要項	


※全2回

講座番号	10-2	講座名	教科指導力向上研修（中学校 社会） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～		
区分	教科指導				
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どもの課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等の社会科担当教諭（主幹教諭含む） 120名	
日程	実施形態	概要			
①9月2日(月)～ 9月6日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性 ○問題の解答プロセスの再現			
②9月9日(月)	遠隔	【交流・講義・協議】（3h） ○授業実践に関わる自身の課題について ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に応える授業とはどのようなものか」			
講師	②道内の公立高等学校教諭		実施要項		


※全2回

講座番号	10-3	講座名	教科指導力向上研修（中学校 数学） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～		
区分	教科指導				
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どもの課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等の数学科担当教諭（主幹教諭含む） 120名	
日程	実施形態	概要			
①9月2日(月)～ 9月6日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性 ○問題の解答プロセスの再現			
②9月13日(金)	遠隔	【交流・講義・協議】（3h） ○授業実践に関わる自身の課題について ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に応える授業とはどのようなものか」			
講師	②道内の公立高等学校教諭		実施要項		


※全2回

講座番号	10-4	講座名	教科指導力向上研修（中学校 理科） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どものための課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等の理科担当 教諭（主幹教諭含 む） 120名
日程	実施形態	概要		
①9月2日(月)～ 9月6日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性 ○問題の解答プロセスの再現		
②9月10日(火)	遠 隔	【交流・講義・協議】（3h） ○授業実践に関わる自身の課題について ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な 接続 ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は 何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に応える授業とはどのようなものか」		
講師	②道内の公立高等学校教諭		実施要項	


※全2回

講座番号	10-5	講座名	教科指導力向上研修（中学校 英語） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どものための課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等の外国語科 担当教諭（主幹教諭 含む） 120名
日程	実施形態	概要		
①9月2日(月)～ 9月6日(金)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性 ○問題の解答プロセスの再現		
②9月13日(金)	遠 隔	【交流・講義・協議】（3h） ○授業実践に関わる自身の課題について ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な 接続 ○問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性「問題に込められた『メッセージ』は 何か」 ○授業の構想「『メッセージ』に応える授業とはどのようなものか」		
講師	②道内の公立高等学校教諭		実施要項	


※全2回

講座番号	11	講座名	中学校国語教育充実研修 ～国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する国語教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	教科指導において中核的な役割が期待される中学校等国語科担当教諭（主幹教諭含む）18名
日程	実施形態	概要		
①7月16日(火)～ 8月16日(金)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○これからの中学校国語教育		
②8月29日(木)	遠隔	【講義・協議・演習】(4.5h) ○自己の課題の明確化 ○これからの中学校国語教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
【中間フォローアップ】学習指導案の作成や実践に係る聞き取り、助言				
③11月22日(金)	遠隔	【授業参観・協議】(2h)		
【フォローアップ】実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③北海道教育大学附属函館中学校副校長 黒田 諭 氏 (元国立教育政策研究所教育課程研究センター学力調査官。 R4・R5全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書への執筆)		実施要項	


※全3回

講座番号	12	講座名	中学校数学教育充実研修 ～数学的に考える資質・能力を育成する指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	数学的に考える資質・能力を育成する数学教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	教科指導において中核的な役割が期待される中学校等数学科担当教諭（主幹教諭含む）18名
日程	実施形態	概要		
①7月16日(火)～ 8月23日(金)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○これからの中学校数学教育		
②9月6日(金)	遠隔	【講義・協議・演習】(4.5h) ○自己の課題の明確化 ○これからの中学校数学教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
【中間フォローアップ】学習指導案の作成や実践に係る聞き取り、助言				
③11月20日(水)	遠隔	【授業参観・協議】(2h)		
【フォローアップ】実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③愛知教育大学特別教授 飯島 康之 氏 (文部科学省学習資源デジタル化・ネットワーク化推進事業作 ツールコンソーシアム代表。数学科におけるICT活用に関する 論文・著書多数)		実施要項	

※全3回

講座番号	13	講座名	中学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する 指導の在り方～	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成する外国語教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	教科指導において中核的な役割が期待される中学校等外国語科担当教諭（主幹教諭含む） 18名
日程	実施形態	概要		
①6月19日(水)～ 6月28日(金)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○これからの中学校外国語教育		
②7月8日(月)	遠隔	【講義・協議・演習】(4.5h) ○自己の課題の明確化 ○これからの中学校外国語教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
【中間フォローアップ】学習指導案の作成や実践に係る聞き取り、助言				
③10月21日(月)	遠隔	【授業参観・協議】(2h)		
【フォローアップ】実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③英語“ワクワク授業”研究所代表 中嶋 洋一 氏 (元関西外国語大学教授。授業づくりに関する著書多数)		実施要項	


※全3回

講座番号	14	講座名	中学校技術・家庭（技術分野）教育充実研修 ～「社会の発展と技術」の学習の在り方について～	
区分	教科指導			
研修のねらい	職場実践を挟んだ遠隔型研修による協議・演習などを通して、生活や社会に対して技術の見方・考え方を働かせ、技術の在り方を考える学習活動を振り返り、今後の授業改善のための方策を得る。		受講対象 定員	中学校技術・家庭（技術分野）を担当している教諭 32名程度
日程	実施形態	概要		
①6月18日(火)	遠隔	【講義・協議】(3h) ○学習指導要領における「社会の発展と技術」の位置付け ○「社会の発展と技術」の題材計画作成のポイント ○題材計画例の紹介 ○協議		
【職場実践】自校の指導計画の見直しと「社会の発展と技術」の授業実践				
②10月25日(金)	遠隔	【協議】(2.5h) ○職場実践における取組の交流及び改善に向けた協議		
講師	①白鷗大学教育学部教授 上野 耕史 氏 (元文部科学省初等中等教育局視学官) ②道内中学校における技術分野の実践者など		実施要項	


※全2回

講座番号	15	講座名	小学校外国語教育充実研修 ～外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力 を育成する指導の在り方～	
区分	教科指導	講座名		
研修のねらい	外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する外国語教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	教科指導において中核的な役割が期待される小学校等教諭（主幹教諭含む） 18名
日程	実施形態	概要		
①6月26日(水)～ 7月17日(水)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○これからの小学校外国語教育		
②7月19日(金)	遠隔	【講義・協議・演習】(4.5h) ○自己の課題の明確化 ○これからの小学校外国語教育 ○今後の取組の充実に向けて		
【職場実践】 ○学習指導案の作成 ○作成した学習指導案に基づく実践				
【中間フォローアップ】学習指導案の作成や実践に係る聞き取り、助言				
【中間ミーティング】実践上の課題解決のための交流等（9月18日(水)）				
③10月18日(金)	遠隔	【授業参観・協議】(2h)		
【フォローアップ】実践に係る個別の聞き取り、助言				
講師	②③関西外国語大学教授 直山 木綿子 氏 (H21～文部科学省初等中等教育局教科調査官。 H31～文部科学省初等中等教育局視学官。 R6～現職)		実施要項	


※全3回

講座番号	16	講座名	英語力ブラッシュアップ研修（小学校）	
区分	教科指導	講座名		
研修のねらい	外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための授業づくりに向けて、コミュニケーションの目的や場面、状況を明確にした言語活動のデザインや、児童と英語で意味のあるやり取りができる英語力を身に付ける。		受講対象 定員	小学校等教諭（主幹教諭含む） 各回20名
日程	実施形態	概要		
①8月27日(火)	遠隔	【演習】(1h) ○クラスルーム・イングリッシュの充実		
②9月3日(火)	遠隔	【演習】(1h) ○児童を巻き込んだ読み聞かせ		
③9月19日(木)	遠隔	【演習】(1h) ○児童が自分の思いや考えを表現する言語活動の指導		
講師	①②③アルバータ大学教授 オレンカ・ピラッシュ 氏 (H13～道研研修講座を担当。 第二言語教育及び北海道の外国語教育の現状に精通)		実施要項	

※受講者が自身のニーズに合ったものを選んで受講（それぞれのトピックによる独立した内容）。

講座番号	17	講座名	授業カブラッシュアップ研修（小学校国語）	
区分	教科指導			
研修のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成するための授業づくりに向けて、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う言語活動を学習過程に適切に位置付け、実践する力を身に付ける。		受講対象 定員	小学校等教諭（主幹教諭を含む） 100名
日程	実施形態	概要		
①8月21日(水)	遠 隔	【講義・協議】(2.5h) ○これからの小学校国語教育		
講師	国立教育政策研究所 教育課程調査官・学力調査官 大塚 健太郎 氏 (神奈川県公立小学校教諭、東京学芸大学附属小金井小学校教諭などを経て、2020年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)		実施要項	

※全1回

講座番号	18	講座名	授業カブラッシュアップ研修（小学校算数）	
区分	教科指導			
研修のねらい	数学的に考える資質・能力を育成する算数科の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	小学校等教諭（主幹教諭を含む） 100名
日程	実施形態	概要		
①8月23日(金)	遠 隔	【講義・協議】(2.5h) ○これからの小学校算数教育		
講師	岩手大学准教授 佐藤 寿仁 氏 (元国立教育政策研究所教育課程研究センター学力調査官。R4・R5全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書への執筆)		実施要項	

※全1回

講座番号	19	講座名	S-TEAM教育推進事業「STEAM」推進プロジェクト「理数探究セミナー」（高等学校）	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	探究的な学習について、理科・数学における課題研究や新科目「理数探究基礎」及び「理数探究」を通じた指導方法の理解を深め、実践的指導力の向上を図るとともに、授業の改善・充実に向けた方策を考える。		受講対象 定員	高等学校理科及び数学科担当教諭 28名(集合型)、 100名(遠隔型)
日程	実施形態	概要		
①11月27日(水)	遠隔・集合	【講義・授業参観・協議】(6.5h) ○探究的な学習を深めるための学習指導の在り方		
②12月9日(月)	遠 隔	【講義・演習・講話】(3h) ○探求の流れと探求の進め方		
③1月30日(木)	遠 隔	【講義・演習】(3h) ○探究的な学習に向けた指導方法		
講師	①道内外のSSH校で探究的な活動を担当する教諭など ②東京学芸大学大学院教育学研究科教育実践創成講座教授 大谷 忠 氏 (STEAM教育プロジェクトを推進している「東京学芸大こども未来研究所」理事長) ①②③北海道立教育研究所職員		実施要項	

※全3回 ※①の研修は遠隔・集合から希望する形態を選択して受講いただけます。

※①の集合型研修は北海道釧路湖陵高等学校（釧路市緑ヶ岡3丁目1番31）が会場となります。


講座番号	20	講座名	観察・実験を通じた科学的に探究する力を育む理科教育充実研修（中学校）	
区分	教科指導（専門）			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、実践的指導力を高めることで、「探究の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	中学校理科担当教諭 24名
日程	実施形態	概要		
①10月8日(火)	遠隔	【説明・協議】（1h） ○課題の明確化 ○OSTEAM教育との関連性		
②10月9日(水)～ 10月30日(水)	オンデマンド	【説明・講義】（0.5h） ○理科教育の現状と課題 ○授業改善と評価の充実 ○実習のポイント		
③11月6日(水)～ 11月7日(木)	集合	【観察、実験等を行う実習】2日間（6.5h、6h） ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
④2月3日(月)	遠隔	【実践交流】（2h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②③④北海道立教育研究所職員 ③北海道鶴川高等学校長 柳本 高秀 氏 (元理科教育センター次長)		実施要項	

※全4回


※③の集合型研修は北海道札幌啓成高等学校（札幌市厚別区厚別東4条8丁目6番1号）が会場となります。

講座番号	21	講座名	観察・実験を通じた問題解決の力を育む理科教育充実研修（小学校）	
区分	教科指導（専門）			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	小学校教諭 24名
日程	実施形態	概要		
①9月4日(水)	遠隔	【説明・協議】（1h） ○課題の明確化 ○OSTEAM教育との関連性		
②9月5日(木)～ 9月26日(木)	オンデマンド	【説明・講義】（0.5h） ○理科教育の現状と課題 ○授業改善と評価の充実 ○実習のポイント		
③10月3日(木)～ 10月4日(金)	集合	【観察、実験等を行う実習】2日間（6.5h、6h） ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
④12月18日(水)	遠隔	【実践交流】（2h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②③④北海道立教育研究所職員 ③酪農学園大学教授 金本 吉泰 氏 (元理科教育センター職員。 理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究)		実施要項	


※全4回 ※③の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	22	講座名	キャリア教育における実践的指導力向上研修 ～生徒実習システムを活用した職業教育の推進～	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	これからの時代を創る地域の担い手となるために必要とされる、情報収集・分析力、判断力、実行力等の起業家的資質・能力を身に付けた人材育成の推進に向けて、生徒実習システムの戦略マネジメントゲームを教材とした探究的・体験的な学習活動を取り入れた職業教育における実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	商業科目を設置している学校をはじめ、戦略マネジメントゲームを授業に取り入れ職業教育を推進したいと考えている道立高校（生徒実習システム利用対象校）の教諭 20名（各回10名）
日程	実施形態	概要		
①5月20日(月)～ 8月5日(月)	オンデマンド	【講義】(1h) ○戦略マネジメントゲームとは ○起業家教育の重要性とビジネスゲーム		
②8月6日(火)、 8月7日(水)	遠隔	【演習】(同内容で2回実施)(3h) ○戦略マネジメントゲームの体験 ○会計情報の分析 ○授業での展開		
講師	①②ICT教育推進課職員		実施要項	


※全2回 ※②は受講者はいずれかの日程で参加。

講座番号	23	講座名	工業科教員の実践的指導力向上研修 ～工業科目の授業づくりの進め方～	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	工業科の目標を踏まえた情報活用能力育成の観点から、プログラミング教育の充実や「FA制御実習」等の生徒実習システムを活用した実践的・体験的な学習活動を推進する実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	工業科担当教諭 8名
日程	実施形態	概要		
①9月2日(月) ～ 9月30日(月)	オンデマンド	【講義】(0.5h) ○学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり		
②10月10日(木)～ 10月11日(金)	集合	【講義・演習・講話】(2日間) ○フレッドボードを使った回路製作 ○生徒実習システムを活用した授業づくり ○学習指導案作成の実際 ○工業高校校長によるトークセッション ○制御プログラム		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ②道内工業高等学校長		実施要項	


※全2回

講座番号	24	講座名	生徒指導研修1 ～いじめ問題への組織的な対応～		
区分	生徒指導				
研修のねらい	職場実践を挟んだ遠隔型研修による講義・演習・協議などを通して、学校いじめ防止基本方針に基づく早期発見・早期対応に向けた組織的な対応について自校の体制や取組を振り返り、改善のための方策を得る。		受講対象 定員	全ての校種の管理職、教諭及び養護教諭 32名	
日程	実施形態	概要			
①6月11日(火)～ 7月5日(金)	オンデマンド	【講義】(1h) ○生徒指導Ⅰ「生徒指導提要」の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性(NITS校内研修シリーズNo.129) ○学校におけるいじめ問題への対応のポイント(NITS校内研修シリーズNo.90)			
②7月8日(月)	遠隔	【講義・演習・協議】(5h) ○いじめ問題への組織的な対応 ○自校の「学校いじめ防止基本方針」を用いた事例検討 ○早期発見・早期対応のための具体的な方策について協議			
【職場実践】自校のいじめ問題への組織的な対応状況を省察					
③11月15日(金)	遠隔	【協議】(2.5h) ○職場実践における取組の交流及び改善に向けた協議			
講師	②北海道教育大学教授 平野 直己 氏 (北海道いじめ問題審議会委員) ③北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課		実施要項		


※全3回

講座番号	25	講座名	生徒指導研修2 ～不登校児童生徒への組織的な支援の在り方～		
区分	生徒指導				
研修のねらい	職場実践を挟んだ遠隔型研修による講義・演習・協議などを通して、不登校への理解を深め、学校全体でチームとして指導・援助を行う体制の充実を図り、関係機関とも連携した不登校児童生徒への組織的・継続的な支援をするための方策について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職、教諭及び養護教諭 32名	
日程	実施形態	概要			
①7月4日(木)～ 8月1日(木)	オンデマンド	【講義】(1h) ○生徒指導Ⅰ「生徒指導提要」の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性(NITS校内研修シリーズNo.129) ○不登校児童生徒の支援と教育相談(NITS校内研修シリーズNo.141) ○不登校支援ガイドブックに基づいた組織的・継続的な支援			
②8月2日(金)	遠隔	【講義・演習】(5h) ○インシデント・プロセス法を用いた組織的な支援 ○実践発表 ○関係機関等と連携した組織的な取組 ○事例研究			
【職場実践】自校の不登校児童生徒への組織的・継続的な支援の状況を省察					
③11月25日(月)	遠隔	【協議】(2.5h) ○職場実践における取組の交流及び改善に向けた協議			
講師	②北海道教育委員会兼江別市教育委員会SSW 田村 千波 氏 ②社会福祉法人楡の会臨床心理士 岡部 善也 氏 ②小樽市教育支援センター登校支援室 教育支援コーディネーター 上泉 哲 氏		実施要項		


※全3回

講座番号	26	講座名	生徒指導研修3 ～自殺予防に向けた心の危機に気付く力と相談する力の育成～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び遠隔型研修における講義や演習、受講者同士の協議を通して、既に実施している自殺予防教育につながる教育活動を整理し、心の危機に気付く力と相談する力の育成を目指した学校が組織的に取り組む自殺予防教育や教育相談の在り方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の管理職、教諭及び養護教諭 32名
日程	実施形態	概要		
①5月20日(月)～ 6月3日(月)	オンデマンド	【講義】(1h) ○生徒指導Ⅰ「生徒指導提要」の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性(NITS校内研修シリーズNo.129) ○自殺予防(NITS校内研修シリーズNo.95 前編及び後編)		
【職場実践】 自校の取組や課題の把握(アンケートを実施、分析する)				
②7月1日(月)	遠 隔	【説明・講義・協議・演習】(3h) ○今求められる自殺予防教育 ○早期発見・早期対応に係る教育相談の充実(TALKの原則)		
講師	②北海道教育大学准教授 本田 真大 氏 (H18～R4 北海道教育委員会 自殺予防教育検討会 委員) ②北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課		実施要項	


※全2回

講座番号	27	講座名	「総合的な探究の時間」実践研修	
区分	課題対応			
研修のねらい	講義及び実践発表、各地域における受講者同士の協議等を通して、「総合的な探究の時間」において教科等横断的に資質・能力を育成する学校体制の構築の道筋をつける。		受講対象 定員	空知、石狩、渡島、 檜山管内の「総合的な探究の時間」を実施する全ての道立高校
日程	実施形態	概要		
【事前課題】 自校の現状把握				
①6月6日(木)	遠 隔	【講義】(2.5h) ○探究のプロセスを踏まえた学習活動の充実に向けて		
②6月21日(金)	遠 隔	【講義】(2.5h) ○北海道の高校における探究活動の課題と実践例		
【職場実践】 自校の課題の焦点化				
③ 石狩 7月29日(月) 空知 8月6日(火) 渡島・檜山 8月8日(木)	分 散	【実践発表・協議】(3h) ○道内における好事例の実践発表 ○他校との実践交流		
【職場実践】 課題解決のプランの作成				
講師	①東京学芸大学大学院教育学研究科教授 西村 圭一 氏 (国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部総括研究官。探究オリンピック委員会委員長) ②北海道大学准教授 篠原 岳司 氏 (北海道教育学会理事。 北海道教育推進会議高等学校専門部会委員)		実施要項	


※全3回

講座番号	28	講座名	保護者との連携の在り方 ～保護者対応に係るロールプレイ演習～	
区分	課題対応			
研修のねらい	事前課題、集合型研修における保護者対応に係るロールプレイ演習等を通して、保護者理解に基づく良好な関係づくりに向けた関わり方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の教諭及び養護教諭 32名
日程	実施形態	概要		
【事前課題】 ○コーチングのスキルと活用Ⅳ～円滑な保護者対応に生かす～（NITS校内研修シリーズNo.80） ○自身の保護者対応の現状				
①6月20日(木)	集 合	【演習・協議・講義】（3.5h） ○保護者を知る、日常的に良好な関係を築く ○ロールプレイ演習「コミュニケーションの基本」「保護者との関わり」		
【職場実践】集合型研修を踏まえた取組と成果等について				
②11月29日(金)	遠 隔	【交流】（1.5h） ○職場実践の交流 ○研修の振り返りとまとめ		
講師	①②ナラティブコミュニケーション教育研究所長 （別府大学客員教授） 佐藤 敬子 氏 （NITS校内研修シリーズNo.80「コーチングのスキルと活用Ⅳ」講師。 主な著書「教師のコミュニケーション力を高めるコーチング」（共著）。 令和5年度道研研修講座講師）		実施要項	


※全2回

講座番号	29	講座名	へき地・小規模校教育充実研修	
区分	課題対応			
研修のねらい	へき地・小規模校における個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた、1人1台端末等を活用した学習指導の在り方について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	・へき地、小規模の小・中学校に勤務している管理職及び教諭 ・へき地、小規模校教育に関心のある小・中学校の管理職及び教諭 20名
日程	実施形態	概要		
①6月19日(水)～7月4日(木)	オンデマンド	【講義】（1h） ○へき地・小規模校における現状と今後の授業の在り方		
②7月11日(木)	遠 隔	【講義・協議・演習】（3.5h） ○へき地・小規模校における1人1台端末等の活用 ○遠隔合同授業など多様な学習形態の活用		
【職場実践】 ○自己研修 ○道へき地・複式教育研究大会への参加等、関係機関と連携した取組				
③12月11日(水)	遠 隔	【実践交流・協議】（1h） ○実践交流		
講師	①北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センターセンター員 鈴木 淳 氏 ②北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長 川前 あゆみ 氏 （道教育大へき地・小規模校教育研究センターとの連携）		実施要項	

※全3回

講座番号	30	講座名	薬品取扱い研修【小・中・高等学校】		
区分	課題対応				
研修のねらい	「薬品を用いた観察、実験を行う実習」や、「薬品管理に係る法令」等の講義を通して、学校で取り扱う薬品の安全で適切な管理について実感を伴った理解を深め、観察・実験などで適切に取り扱うための知識・技能を身に付ける。		受講対象 定員	理科担当教諭（中・高）、教諭（小）各8名	
日程	実施形態	概要			
①7月12日(金)	集 合	【講義・協議・実習・振り返り】（6.5h） ○薬品管理、薬品の調製、廃棄方法 ○校種別の薬品取扱い、器具の取扱い、実験の留意事項 等			
講師	北海道立教育研究所職員		実施要項		

※全1回

講座番号	31	講座名	薬品取扱い基礎研修【小・中学校】		
区分	課題対応				
研修のねらい	「薬品を用いた観察、実験を行う実習」や、「薬品管理に係る法令」等の講義を通して、学校で取り扱う薬品の安全で適切な管理について実感を伴った理解を深め、観察・実験などで適切に取り扱うための基本的な知識・技能を身に付ける。		受講対象 定員	理科担当教諭（中） 教諭（小）各8名	
日程	実施形態	概要			
①6月4日(火)	集 合	【講義・協議・実習】（3h） ○薬品管理、薬品の調製、廃棄方法 ○校種別の薬品取扱い、器具の取扱い、実験の留意事項 等			
講師	北海道立教育研究所職員		実施要項		

※全1回 ※【渡島管内】北海道上磯高等学校（北斗市中野通3丁目6番1号）が会場となります。